



令和6年度 相撲大会

秦野市立上幼稚園長・小学校長 井手 祥子

TEL 88-0274 FAX 87-3809

5月24日（金）の相撲大会には保護者の方、地域の方をはじめ多くの方に応援に来ていただきました。ありがとうございました。決勝戦に出た子どもたちの白熱した対戦には、予選で対戦した子どもたちの頑張りも詰まっているように感じました。



開会式では白鳥勝洋さんにお話をさせていただきました。令和6年1月27日から行われた櫓の柱の改修では、白鳥さんが中心となって作業を進めてくださいました。柱は上共有林の樹齢60年の檜を使ったことや、上地区の50～60人の方が集まり分担をして作業を進めたこと等の話から、地域の方の相撲櫓への思いを改めて感じました。

また、作業をする中で勇気づけられたのは子どもたちの「お仕事頑張っ」という励まされたそうです。これからも相撲を通して子どもたちの健康な体作りにつながるように、上小自慢の土俵を大切にしていきたいと思います。



勝っても負けても互いを称えて～予選から全員、頑張りました。～

相撲大会前日の準備は、PTA本部の方が幟を立てるところから始まりました。国技館の大相撲で見るとような幟に驚きました。

当日、開会式後の準備体操では体づくりの指導をしてくださった細川先生の号令に合わせて、子どもたちと会場の皆さんも一緒に体を動かしました。保護者の方、地域の方と子どもたち、会場にいる全員の一体感を感じました。



決勝戦では、どの学年も白熱した対戦が繰り広げられました。相撲のしきたりとして「勝ってもうれしさを態度に表さない」ことが互いを称えることにつながると感じました。

来賓の方からは「子どもたちの真剣な対戦に感動しました。」という感想をいただきました「塵手水」も各学年で練習をして発表をすることができました。

かみっこサポート募金のご協力もありがとうございました。



4年生から6年生はそれぞれ運営を担いました。子どもたちが運営する姿も頼もしかったです。

【担当】

4年生 取組表の花づくりと花の掲示

5年生 取組の審判

6年生 行司、呼び出し、拍子木
 集会委員会 取組の仕方の発表
 放送委員会 力士紹介

皆さんのおかげで、令和6年度の相撲大会も思い出に残る相撲大会になりました。上幼稚園の園児の皆さんも応援ありがとうございました。年長さんは来年の相撲大会に向けて、体づくりをしていきましょう。

相撲大会の日は上小ちゃんこ



この日の給食には、相撲大会の日恒例の「上小ちゃんこ」が出ました。4月に子どもたちに上小学校の自慢を聞いた時、給食に上小ちゃんこが出ることを教えてくれました。その話を聞いた時から楽しみにしていました。

献立は

- かつおそぼろご飯
- ソーダ風ゼリー
- 上小ちゃんこ
- 牛乳

上小ちゃんこは、手作りの肉団子とたくさんの野菜が煮込まれていて、とてもおいしい「ちゃんこ」でした。

また、栄養士さんによると「かつおそぼろ」も初鰹を使った、1年に1回しか登場しない献立だそうです。鰹はタンパク質と鉄を多く含んでいるとのこと、この日の献立は疲れた体にちょうどよい献立でした。



1年生の「塵手水」の発表です。号令をかけながら堂々と発表することができました。



手に汗握る対戦が続きました。最後は、6年生男子の力強い対戦でした。